



教育目標(すすんで学び 思いやりのある たくましい子ども)

坂東太郎

伊勢崎市立坂東小学校 学校通信 令和2年12月7日(月)第14号 文責：校長 内藤

※「坂東太郎」は、坂東小ホームページ(校長室通信)でもカラー版でご覧になれます。

後期委員会活動～テレビ中継でみんなにお知らせ～



児童会(学級委員会)



JRC委員会 図書委員会 体育委員会

後期の委員会活動がスタートしました。

テレビ放送で、各委員会の委員長が全校児童に向けて活動内容やみんなへのお願いを伝えました。



環境・美化委員会

給食委員会

保健委員会

飼育委員会



安全委員会



放送委員会

さすが6年生、どの委員長もしっかり自分の委員会のアピールができていました。6年生になると、こんなに立派に自分の役割をこなせるようになるのだとあらためてその成長を感じました。

6年生にとっては最後の委員会活動です。積極的にリーダーシップを発揮して、小学校生活のまとめにふさわしい「自分たちの学校は自分たちでよくする」ための意欲的な活動を期待しています。

また5年生にとってこれからは、6年生を見習い、活動を引き継ぐ大切な時期です。委員会活動を通して6年生になる心構えや責任感をもてるといいですね。

人権集会 12月3日

世界人権宣言が採択された日である12月10日が「人権デー」であることから、例年、坂東小人権集中学習期間を設け、11月から12月にかけて、全校で人権について考える機会をつくっています。人権標語を作ったり、人権啓発ビデオを視聴したり、人権に視点を当てた道徳の授業をしたり、児童会(学級委員会)が主体となって人権集会をしたりして、子供たちの人権意識を高めるための取組をしています。

今年の人権集会は、テレビの生放送で行いました。まず、子供たちが世界人権宣言について解説してくれました。次に今年の人権標語の学年代表作品が、作者から発表されました。そして校長の話。私からは主に「みんなが毎日気持ちよく学校に通えるためには、い

じめのような行為は絶対に許すわけにはいきません。」という内容の話をしました。最後に児童会から「人を笑顔にする言葉を選びたい」という主旨の詩のメッセージがありました。担当の先生の指導もあるのだと思いますが、子供たちが協力して手際よく進行して、大切な内容を伝える姿に感心しました。小学生のうちからお互いの人権について敏感になるのは大切なことだと思います。



《人権標語 学年代表作品》

- だいじょうぶ やさしい言葉 かけあおう 【1年 きむら さん】
- ありがとう ごめんなさいは 友だちみんなの なかよしことば 【2年 なかざわ さん】
- つたえ合おう 自分の気持ち 大事だよ 【3年 深町 さん】
- つなごうよ みんなの中の 心の輪 【4年 平井 さん】
- ふわふわ言葉で 満ちている 笑顔あふれる 学校目指そう 【5年 吉田 さん】
- 情報に流されないで 考えよう 自分の行動 自分の責任 【6年 幸田 さん】



「世界人権宣言」の紹介

児童会からのメッセージ

引き続き 新型コロナウイルス感染症への対応をお願いします

1月28日より群馬県の警戒度が2から3に引き上げられました。先日、教育委員会からの通知を配布させていただきましたが、学校と家庭が連携して感染症拡大防止に留意していくことが大切ですので、今後も適切にご対応、ご協力をよろしくお願いいたします。

寒くなり、手洗いや換気がしづらい季節ですが、学校では冬季も手洗いや教室の換気、3密の回避など、基本的な感染症対策を徹底させていきます。教室では、窓際の席など、お子さんが寒さを感じる場合もあるかと思っておりますので、暖かい服装で調整するよう指導します。ご家庭でもお子さんの服装に配慮をお願いします。